

学校の朝の読み聞かせと学校司書について

受付日:令和7年10月21日 回答日:令和7年10月31日

【ご意見の内容】

以前から小学校の読み聞かせボランティアさんの高齢化が進んで度々人数が不足する話を聞きます。なぜ読み聞かせをボランティアさん任せにして学校司書が主体となってやらないのでしょうか？ 読み聞かせの朝礼の時間に学校司書はまだ出勤していないと聞いたのですが、はたして朝礼にも参加せずきちんと学校の動きを把握することができているのでしょうか。学校司書は時間に融通をつけて働けないものなのでしょうか。

【回答】

読み聞かせ活動は、児童の心の成長に寄与するだけでなく、地域の方々と学校との温かな交流の場にもなっており、本町内の小学校では、読み聞かせの時間帯は朝の時間に行う学校と、日中に行う学校がございます。

朝の時間に実施している学校においては、ほとんどの学校司書が読み聞かせの時間帯には出勤しております。また、朝礼への出席が難しい場合でも、出勤後に教職員からの連絡やタブレット端末を通じた情報共有により、学校の動きや児童の様子を把握できる体制を整えているところです。

日中に学年ごとに読み聞かせを行う学校では、学校司書が担当学年の読み聞かせを行っている場合もあります。また、司書が直接読み聞かせを行っていない場合でも、ボランティアの方が読み聞かせを行っている教室の巡回や、活動終了後にボランティアの皆様と情報交換を行うなど、連携を図っております。

また、勤務時間につきましては、学校の教育活動に支障のないよう、各学校で調整しており、必要に応じて柔軟に勤務時間を対応しているところです。

なお、読み聞かせボランティアの方々の高齢化や人手不足につきましては、本町といたしましても今後の課題として認識しております。現在活動してくださっているボランティアの皆様への支援を続けるとともに、新たに担い手となってくださる方を継続して募集し、地域全体で子どもたちを支える体制づくりに努めてまいります。